



松蔭 校長室だより

一校長から保護者の皆様へのメッセージですー

2024年 1月 10日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井直光

神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。試練と共にそれに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。
(コリント人への手紙 I 10:13)

新年、新学期の始業の日にあたって

能登半島地震から10日が経ちました。被災地のニュース映像に言葉を失います。本日の始業式では、講堂に集う中高6学年の生徒全員で被災地に心を向けて祈りました。「天に召された方々の御霊が安らかなることを祈りましょう。愛する家族を失った方々、被災した方々一人ひとりに私たちの心を寄せましょう。悲しみ、苦しみの中にある人々に癒しと慰めがありますように。救助にあっている人、被災者を支援する人々の身の安全を守り、その方々にも力をお与えください。被災地の復興が進められ、1日も早くこれまで通りの日常をとりもどすことができますように。」神戸の地から私たちが出来ることを進めていきたいと思えます。

報道されておりますように、列島各地で地震活動が活発化しています。昨日の全教員の会議では、以下の各項目について確認しました。通常の校内活動だけでなく、校外活動や宿泊行事実施中の災害発生も念頭に入れ、教職員、生徒ともに防災、減災について一層の意識化を図ります。

○学校ホームページ「災害・緊急時情報入力フォーム」の運用態勢を再確認するとともに、現行の「大災害発生時の教職員対応」マニュアルの内容については次年度4月を目処に見直します。現行マニュアルは1995年の阪神淡路大震災を契機として策定したものです。当時はインターネットの活用もなく、南海トラフ地震発生を想定する情報も不十分でした。

○校内の非常用備蓄物資（非常用飲料水、保存食、毛布・アルミブランケット、非常用袋式トイレ、生理用品など）、緊急用資材（ポータブル発電機、携帯用充電器など）の保管場所を共有しました。飲料の自販機3台（高1A教室横）は、災害対応ベンダー機（災害時に商品を無償で利用できる）となっています。

○生徒の防災意識の向上を図ります。大地震発生を想定した避難訓練のほか、年度初めに配布した「大災害対応マニュアル」の常時携行と記載内容について指導します。保護者の皆様も一度ご覧ください。

○「南海トラフ地震臨時情報」（気象庁が2019年より運用。詳細については後述）に関連する学校対応について南海トラフ地震の神戸市内で想定されている揺れの大きさは、震度6強です。

<「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合>

学校は通常通りですが、行政機関より一斉休校の指示があった場合は休校とします。また、本校独自の判断で休校とする場合があります。

<大地震がすでに発生している場合>

神戸市内（のいずれかの区）で震度5弱以上の揺れが観測された場合、臨時休校とします。在校中の場合は授業を打ち切り、原則として保護者引き取りにより生徒を帰宅させます。保護者引き取りが困難な場合は学校待機とします。ただし震度4以下でも状況により同措置をとる場合があります。

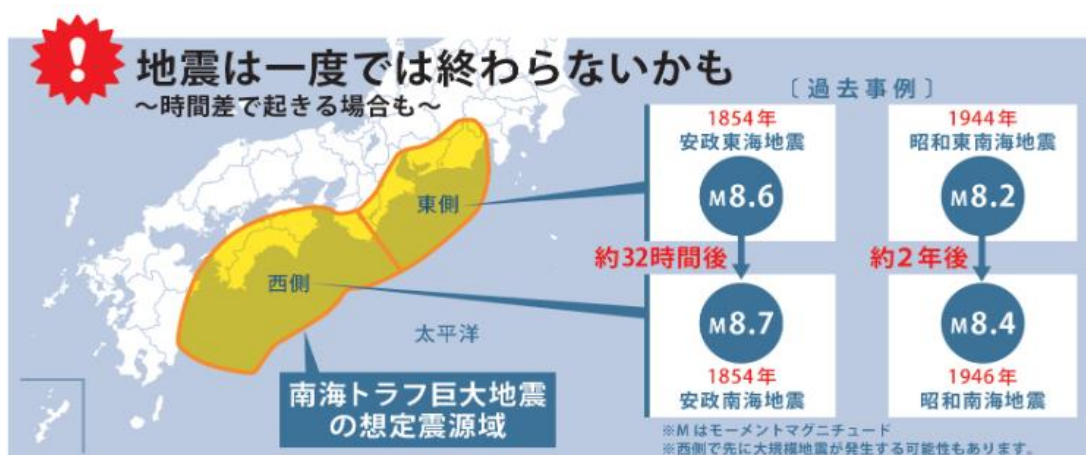
（参考）2018年6月18日午前7時58分に発生した大阪府北部地震では、学校周辺（神戸市灘区）は震度4でしたが、尼崎市、西宮市、伊丹市などの一部で震度5弱が観測されました。JR、阪急等も運転を見合わせていたため臨時休校としました。校内に登校していた生徒230名については、保護者の方に迎えに来ていただき、午後5時には校内に残っていた生徒の引き渡しを終えました。

今後、阪神淡路大震災の記念礼拝（1月17日）、避難訓練（2月5日）を予定しています。防災、減災への啓発の取り組みを重ねます。ご家庭でも食品備蓄や緊急携行バッグの準備、家具の固定など減災の取り組み、万一の際の家族の集合場所の確認などをお願いいたします。上述の「南海トラフ地震臨時情報」については以下のとおりです。

「南海トラフ地震臨時情報」について（政府「防災情報のページ」より）

内閣府ホームページより転載します。*全文は<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinji/index3.html>

「南海トラフ地震」は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。過去の事例を見てみると、これまで100～150年の周期で大規模な地震が発生しており、1707年の宝永地震のように駿河湾から四国沖の広い領域で同時に地震が発生したり、マグニチュード8クラスの大規模地震が隣接する領域で時間差をおいて発生したりするなど、その発生過程に多様性があることがわかります。地震調査研究推進本部の長期評価によると、マグニチュード8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%（令和4年1月1日現在）とされています。



「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。情報名の後にキーワードが付記され「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表されます。気象庁において、マグニチュード6.8以上の地震等の異常な現象を観測した後、5～30分後に南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表されます。その後、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の臨時会合における調査結果を受けて、該当するキーワードを付した臨時情報が発表されます。

政府や自治体からキーワードに応じた防災対応が呼びかけられますので、呼びかけの内容に応じた防災対応をとってください。

南海トラフ地震臨時情報		発表条件
キーワード	調査中	■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	巨大地震警戒	■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	■ 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■ 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合 ■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
	調査終了	■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

（上の図表はいずれも内閣府ホームページ「防災情報のページ」より転載）

*関連の気象庁ホームページはこちらhttps://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nteq/info_criterion.html

1月～2月の予定

1月12日（金）私立中学入試のため、授業は④校時まで。1月13日（土）、1月15日（月）は自宅学習日。

課題学習や今月末の英検、漢検に備えてください。

1月17日（水）8：25分予鈴 阪神淡路大震災記念礼拝

1月21日（日）英検

1月24日（水）韓国信明高校、聖明女子中学校訪問団来校。⑦校時に歓迎式典。26～28日ホームステイ。

29日帰国予定。

1月26日（金）漢検（放課後）

2月5日（月）第3回保護者「おしゃべり会」10：30～12：00（後日、Classiで案内します）

避難訓練（昼休み）

2月10日（土）高校入試のため自宅学習日。ただし中学3年生は基礎学力判定試験のため登校（午前）。

2月17日（土）「奉仕活動の日“Shoin School Campaign”」

午前中は、各学年、クラス単位で校内、校外でのボランティア活動です。

校内では、昼頃からPTA売店、同窓会（千と勢会）売店、キッチンカー販売などを予定しています。後日、ご案内いたします。